

平成17年度経営協議会の審議において大学運営に活用された事項

○ 本学における教職大学院設置構想

本学における教職大学院設置構想は、経営協議会での意見等もふまえて策定した。

経営協議会での主な指摘事項

- ・ 既存の修士課程と、専門職学位課程の違いを、対外的に分かりやすく、かつ納得してもらえようような説明ができるようにしなければならない。
- ・ 専門職学位課程については、充実した内容のものが出来そうだというイメージは湧くのだが、既存の修士課程の方はどうなるのだろうという若干の心配がある。この構想により修士課程を含む研究科全体がさらによくならなければならない。
- ・ 既存の修士課程は研究者養成中心であるような説明をすると、本学が従来もっている魅力が失われてしまうのではないか。専門職学位課程を作ることにより既存の修士課程もより臨床的、実践的なものになるといった説明も必要ではないか。
- ・ 専門職学位課程を作ることにより、既存の修士課程が色あせてしまうことのないようにして欲しい。
- ・ 本学の修士課程は、これまでも実践的な指導を念頭に置いているのであるから、そことの違いを明確にする必要があるという印象をうける。

○ 「総人件費改革の実行計画等」に基づく中期目標・中期計画の策定

政府の総人件費改革の実行計画等に基づく本学における人件費削減の取り組みを示す中期目標・中期計画の変更案の策定、平成21年度時点での削減目標値の設定にあたっては、経営協議会委員の意見等を参考にした。

経営協議会委員の主な指摘事項

- ・ 数値は大学に任すが、実行計画を上回る数値をあえてあげることには慎重な考慮が必要。
- ・ 人件費削減は事業費を圧迫することとなるので、質の高い教育研究サービスを提供するためには従来の計画を見直す検討も必要。